

歩行分析の院内活用と研究への応用

日時：2024年9月5日（木）19:00～20:30

申込：<https://forms.gle/KWMTCh37MD3ix4tt8>

場所：Zoom（申し込み後に別途通知されます）

対象：歩行分析にご興味をお持ちの医療関係者の方（参加費無料）



■ ご挨拶と概要説明

東京工業大学・教授

三宅美博

本コンソーシアムでは、臨床における歩行分析の国際的な動向を学ぶとともに、我々の最新成果のご紹介や現場の様々な情報共有を進めることで、みなさまと共に技術開発に取り組んで参ります。



■ 本フォーラム紹介

WALK-MATE LAB・部門長

村方正美

本フォーラムは、歩行分析を用いた歩行改善方法の確立を目指し、歩行分析計の効果的な利活用方法などについての情報交換・情報共有の場、並びに臨床現場の課題やニーズ把握の場として運営していきます。



■ WM GAIT CHECKER Pro 紹介

東京工業大学・特任助教

内富寛隆

医療機器 歩行分析計 WM Gait Checker Pro を利用して、歩行運動の一步一步の動きの時空間的な軌道を計測して定量評価し、診断支援に応用する方法について紹介します。



■ 「変形性膝関節症の下肢アライメントから見た歩行分析計の見方」 那須中央病院 整形外科部長

小島正博

変形性膝関節症患者の下肢アラインメントから見た歩行分析計データの解釈について紹介する。



■ 「歩行軌跡の可視化によるパーキンソン病患者のすくみ足の解析」 佛教大学 保険医療技術学部 理学療法学科 教授

石井光昭

ウェアラブルセンサーによる従来のすくみ足の評価では加速度の周波数解析からtrembling in placeを反映するすくみ指数が調べられてきた。これはすくみ足の有無を同定できるがその前兆を捉えることはできない。本講演では歩行軌跡の可視化による新しいすくみ足評価の試みを紹介する。

